

事務事業名	農業体験助成事業	事務事業No.	20101000152	所属課	学校教育課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 合併前の真壁町の小学校4校において、平成8年度から15年度までの7年間、県の農林補助事業を取り入れて実施する。平成16・17年度は真壁町の単独補助事業により実施する。町村の合併後の平成18年からは、市単独補助で真壁地区の3小学校で実施している。当初の3年間は、県の補助事業により実施。その後については、市の単独補助事業により実施してきたが、平成20年度からは実施校へ補助金交付でなく予算令達により実施している。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? ・土地所有者や作物を栽培するための指導者や協力者の謝礼、種苗代等の必要経費の増額を願いたい。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 改革改善を行う ・この事業を実施するためには、学校に近接する場所の確保や年間を通しての農作業の指導者や協力者が必要である。

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) 結びついている 働くことの喜びを体験し、その生産物の大切さを認識させるとともに豊かな心の育成を図ることは学校教育の充実に結びつく。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) 妥当である 児童に「その生産物の大切さを認識させるとともに豊かな心の育成を図る」ことは、市の責務である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) 向上余地がない 勤労生産の喜びや、食料生産の大切さを理解した児童が大半を占めているので、成果はほぼ達成できていると思われる。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) 影響有 廃止・休止は体験学習事業の充実が図れない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 余地がない 他に類似事業はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) 削減余地がない 事業費は土地代・種苗代・肥料代・機械借上代等で必要最小限である。人件費において、学校予算執行に係る必要最小限の指導事務で削減の余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) 見直し余地がある この事業は市立小学校・義務教育学校10校のうち、事業実施校が3校であり、未実施校に対して不公平感はある。しかし、この事業を実施するためには学校に近隣する場所の確保や年間を通しての農作業の指導者や協力者が必要である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ③効率性 ■ 適切 □ 見直し余地あり ④公平性 □ 適切 ■ 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・この事業は農業体験活動を通して、勤労生産の喜びや生産物の大切さを理解させ、児童に豊かな心を養わせるためには最適な事業であるが、市立の小学校及び義務教育学校10校中、市予算での実施校が3校である。各学校とも実情にあわせた農業体験をしているので、要望、支援し継続していく。																					
(3) 今後の事業の方向性 □ 終了 ■ 継続 → ■ 改革改善を行う → (複数回答可) □ 廃止 □ 休止 □ 現状維持 (<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 ■ 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる)	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上			○																		
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 この事業を実施するためには、学校に近隣する場所に圃場の確保や年間を通しての農作業の指導者や協力者が必要である。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ④ コスト削減優先度評価結果 -																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 確認
--	---